

農林水産委員会

農業産出額第二位奪還への決意は
早期の奪還を目指す

問 昨年の農業産出額は千葉県(前年二位)を抜いたが鹿兒島県(前年四位)に追い越され、四年連続で全国第三位となった。第二位奪還への決意を伺う。

答 鹿兒島県との差は六億円とわずかである。農業改革を着実に推進し、コメ・園芸・畜産部門をバランスよく伸ばし、早期の第二位奪還を目指していく。

問 来年度から導入される品目横断的経営安定対策に向けた取り組みと制度の周知を伺う。

答 今秋に麦を作付けする予定の八千三百畝のうち七千四百畝が要件を満たしており、残り九百畝について集落営農組織と認定農業者とで対応できるように努める。市町村や農協とともに周知してきたが、徹底に努める。



本県が誇る農林水産物の数々

今回の委員会では、本県農林水産物のイメージアップに関し、次の項目について積極的に取り組むよう、県執行部に提言しました。

- 1 効果的な情報発信の推進
- 2 マーケティング活動に対する支援の強化
- 3 時代が求める営農指導員等の人材育成・資質向上
- 4 多様な流通形態や実需者等のニーズに対応できる生産集団の再編・育成強化
- 5 新品種や新技術の導入など独自商品の開発促進
- 6 水産・林業部門における取り組み強化

土木委員会

県内港湾の事故防止対策は
現地関係者の連絡体制を
徹底する

問 座礁事故のあった鹿島港をはじめとする県内港湾の事故防止対策にどう取り組むのか。

答 十一月二日に、国と「鹿島港沖座礁事故を踏まえた現地連絡会議」を設置し、現地関係者の連絡体制の徹底等について三か月程度で対応をまとめることとした。他の港湾についても、災害・安全対策協議会を臨時に開催するよう働きかけていく。

問 県民に公共事業の効果をもっとPRすべきと考えるが。

答 現在行っている公共事業が、県民生活にどのように役に立っているのかを示したPR資料を作成した。この資料なども使いながら整備効果について積極的に情報発信をしていきたい。

問 水戸北スマートインターチェンジについて、現在東京方面のみの乗り降り限定である。県北方面への乗り降りについて整備すべきと考えるが。



水戸北スマートインターチェンジ

問 座礁事故の後、県北方面への乗り入れについても恒久化を踏まえて検討したい。

答 今後整理し、県北方面への乗り入れについても恒久化を踏まえて検討したい。

問 水戸北スマートインターチェンジについて、現在東京方面のみの乗り降り限定である。県北方面への乗り降りについて整備すべきと考えるが。

答 水戸北スマートインターチェンジは、現在東京方面のみの乗り降り限定である。県北方面への乗り降りについて整備すべきと考えるが。

問 水戸北スマートインターチェンジについて、現在東京方面のみの乗り降り限定である。県北方面への乗り降りについて整備すべきと考えるが。

文教治安委員会

高校での未履修問題の責任の所在は
教育委員会の責任は
ないとは言えない

問 県立高等学校における必履修科目の未履修問題に関する責任についてどのように考えるのか伺う。

答 教育課程編成の確認等の事務は教育長に委任されており、責任は事務局にある。しかし、問題の重大さを考えれば、事務局を統括する立場にある教育委員会の責任はないとは言えない。関係者の処分については、関係規則等の確認や補習等の進捗状況を見ながら検討する。

問 教育長に教員出身者が多いことが問題であるという意見があるが、県内市町村の教育長のうち教員経験者はどれくらいいるのか。

答 四十四市町村の教育長のうち、日立市、取手市、桜川市を除く四十一人、率にすると93%が教員出身である。



小学校で講話をするスクールサポーター

スクールサポーターの任務に含まれているが、いじめに関して学校側と情報交換を行うことは重要であるので、今後、一層注意を喚起していきたい。

問 いじめによる自殺防止には警察のサポートも必要と考えるが、小中学校を訪問しているスクールサポーターの役割にいじめに対する対応を加えては。答 現在も、いじめについては

今回の委員会では、子ども達の規範意識や公共心の欠如が憂慮すべき状況にあること、また、来年度から全ての県立高校で道徳が履修されることなどから、道徳の基礎となる家庭の教育力の向上や地域と連携した道徳教育の展開、各高校における道徳教育の推進体制の整備など豊かな心をはぐくむ教育の充実について県執行部に提言しました。